

名東学区みまもり隊



【名東学区】

■世帯数：6,957 世帯

■人 口：14,524 人

■面 積：1.251 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

「みんなで守る、ちいきで守る」をスローガンに、「名東学区みまもり隊」を立ち上げ、子どもの各種見守り活動を実施。延べ参加者数は 2,000 人を超える。

- ① 名東学区こどもこうばん：希望者の自宅玄関にこどもこうばんプレートを設置
- ② 「5つの約束」看板：公園や学校、大型スーパーなど、子どもが立ち寄りそうな場所に「5つの約束」看板を設置
- ③ 「第1次みまもり隊」：下校時の付き添いと犬の散歩時など日常生活の中でできる部分や交差点、通学路での見守り活動。自転車、バイク、車などに「防犯パトロール中」パウチを掲示
- ④ ウルトラパト隊：夏休み中の毎週1回、子どもが立ち寄りそうな場所を中心としたパトロールを実施
- ⑤ イブニングパト隊：毎月1回、公園や通学路のパトロールを実施
- ⑥ SP（セキュリティパトロール）隊：月2回、ボランティア中心によるパトロールを実施

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧、掲示板への掲示、前年度ボランティアの方々への案内

【アピールポイント】

リピーターとして参加してくれる人が多いことに加えて新規参加も多く、参加者が増加している。

活動中の笑顔が多く、楽しんで活動してくれている。運営側も参加者が「来た」「来ない」ということを絶対に口にしないようにしている。

2 きっかけ、背景

全国で子どもが犠牲になる痛ましい犯罪が続出する中で、名東学区に「子どもたちを守る」取り組みが存在しなかった。そこで、全児童に防犯ベルを携帯させるなど「子どもの安全は自分たちちいきで守る」という機運が芽生え、「名東学区みまもり隊」が組織されることとなった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、子ども会、スポーツ推進委員、小・中学校、名東警察署 計約 20 人

(2) 運営協力

それぞれの活動の開始時期に参加者募集のチラシを作成し、小学校を通じチラシの配布と回覧で呼びかけ、メンバー増員を図る。

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・多くの住民に防犯意識が生まれた。多くの人とあいさつを交わすことにより明るく住みよい学区になっている。
- ・学区民同士はもちろん、各種団体の横のつながりも強くなり学区のイベントもスムーズに運営できるようになった。
- ・学区の統一防犯色「セキュリティーレッド」の使用により犯罪を抑制し、起こさせない学区になってきている。
- ・多くのボランティアに参加してもらうことで、学区が活性化した。

(2) 苦労した点

- ・第 1 次みまもり隊ではリーダー不在であったため、まとまりがなく参加者が少なかった。

(3) 今後の課題・展望

- ・今まで以上に住民への活動の周知をはかり、より多くの人参加を得ることが、活性化、安心・安全につながるとともに、災害時の役に立つことが期待される。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・「できる時にできる範囲で」を原則に、ノルマ制にしない。しっかりとリーダーの設置と骨子が必要。また、学区内犯罪数の数値を明確にし、目的意識をはっきりとさせるべきである。
- ・組織運営は様々な団体の複数のリーダー参画にて行う。
- ・面白く、参加しやすい土壌を作り、「来た」「来ない」を絶対口にしない。

4 実施のスケジュール

H17年 9月 こどもこうばん・5つの約束看板立案、
小学校高学年児童にデザイン原画募集



H18年 1月 こどもこうばんプレート、5つの約束
看板設置



H18年 第1次みまもり隊開始



H20年 ウルトラパト隊開始



H21年 イブニングパト隊開始



H22年 SP（セキュリティーパトロール）隊開
始



H23年 10月 第1次みまもり隊、ウルトラパト隊、
イブニングパト隊、SP隊を「名東学
区みまもり隊」と総称